



レポート

1

埼玉県所沢市立所沢小学校
山本 博之 先生

通知票の電子化で驚きの効果が!

通知票、電子化までの経緯

手書きで通知票を作成すると、清書で児童一人の作成に15分程度かかっていました。所見は4か所(外国語活動・総合的な学習・学習や生活の様子等)、評定印も学習の様子で34か所、生活の様子で8か所、さらに、出欠席の記録を含めると膨大な量になります。かと言って、成績処理や通知票作成のために時間を確保することも難しく、事務処理の効率化は喫緊の課題でした。

所沢市では昨年度から、指導要録をパソコンで作成していたので、個人的には通知票の電子化に抵抗感はありませんでしたが、ソフトの使い勝手等がわからなかったため、夏休み中に、ひまわり先生を使って本校の通知票をA4判一枚にまとめ直したものを試しに作ってみました。それを通知票のことが議題となった運営委員会で検討してもらったのです。校長先生の考えをもとに検討を重ねた結果、本校の通知票は、新学期が始まる時期に保護者からの返却を求めない、いわば「渡しっぱなし」のタイプとし、学期ごとにA4一枚

で、一学期は表紙と一学期の成績や

出欠のみ、二学期は二学期の成績・

出欠と修了証という構成としました。

そういったタイプの通知票にも、ひ

まわり先生は簡単に対応することが

できました。

先生同士が教え合うといった、「職員室の和」を生むツールになりました!

手仕事による「うっかりミス」が減った上、印刷の速さには皆驚きました。これまで「最後の1週間」を短縮授業などにして評価に充てていましたが、前倒して良いと感じました!

管理職の先生に聞きました!
ひまわり先生で、通知票を電子化して良かったことは?

電子化前と後での校務の変化

【評定から診断が確実に速い!】

ワークや自作テストなども幅広く入力でき、評定を診断してくれるところが便利です。しかも、テストの評価と違った評定を通知票につけようとする時、色を変えて表示してくれるので、本当にその評定で良いのか、一度立ち止まって考えることができるのも、確実性のアップに役立ちました。

【所見の修正が簡単!】

ひまわり先生に保存した下書きを、学級全員分の一覧印刷で教頭先生に見てもらい、指摘をもとに修正を加えておけば、そのまま通知票に反映されるので、チェック↓清書という手間が大幅に削減できます。

若い先生方へ

ここが、オススメ!

【時数計算機能・週案作成機能】

ソフトが自動的に時数を計算してくれて、残時数や達成率を毎週チェックできるので、次の週の計画も不足しているものを中心に変更することが出来ます。私は「予定」で出したものに変更があればペンで書き加え、週末に「決定」で打ち直しています。この繰り返しで時数を管理し、週案を作成しているのです。

若い先生の中には、その日その日の出たとこ勝負を繰り返して、授業することそのものに苦痛を感じている方も多いと聞いていますが、この週案作成機能を使って一週間の授業プランをちょっと思い浮かべるだけで、授業することがとてもおもしろくなります。ぜひ、お試しを!



レポート

2

茨城県つくば市立二の宮小学校
櫻井 泰二 先生

異動が多いからこそ 「ひまわり先生サポート」



きっかけは「対応の良さ」

前任校では、通知表の電子化にあたって表計算ソフトを利用したシステムを作成する役割を担っていましたが、手作りだったため不具合が生じたり、先生方の意向を聞いたりとその都度改良が必要でした。何かある度に、私に対応せざるを得なかったため、「私がこの学校にいつまでも勤務していることは不可能なのにこれで良いのだろうか」という疑問を抱くようになりました。

そのとき、頭に浮かんだのが「ひまわり先生」です。以前、成績データの管理のために「ひまわり先生」を使っていて不具合が生じた際、メールで光文書院に問い合わせると、すぐに回答が寄せられました。また、電話でサポートをお願いした際も、丁寧に対応してくれるなど、対応の速さと丁寧さに感動を覚えたのを思い出しました。

「あの対応の速さがあれば、私がいなくてもすぐに対応してもらえば、また「あのときの対応の良さならば、他の先生方も気軽に光文書院に相談できるだろう」とそう確信した私は、



電子化にあたっての
「サポート力」

翌年の通知票を「ひまわり先生」で作成することに踏み切ったのです。

実際に「ひまわり先生」を使用して通知表の書式を作成してみると、予想以上に簡単に作成することができました。表計算ソフトを使用した通知票は、そのソフトに精通した人がいれば、その後のメンテナンスも問題ありませんが、そうでない場合は修正ができず、困ってしまうことがあります。その点、「ひまわり先生」はサポート体制がしっかりしているので、通知票の書式の作成や変更についても、光文書院が完全に対応し、サポートしてくれる上に、教員向けの研修会の実施など、ソフトの使い方に関してのサポートも充実しているのでもとても助かります。

毎年職員の異動があり、人の入れ替わりが激しい学校現場にとって、このことはとても意義のあることではないでしょうか。実際に前任校でも、私が異動した後は、光文書院のサポートのもとでスムーズに作業を行うことができたそうです。



今の勤務校に赴任して…

そして、今の勤務校でも今年から「ひまわり先生」を活用して通知票を作成することになりました。通知票の書式は、前任校のときよりも複雑でしたが、「ひまわり先生」では問題なく作成することができ、使用方法の研修も、光文書院の方が短時間でわかりやすく説明してくれました。

今やコンピュータは学校現場に欠かせないものとなりましたが、現場に即したサポートがなかなか得られないのが現状です。その点、光文書院は学校のニーズに合わせて、迅速に対応してくれるので、本当に助かっています。

